

**住民意識調査および
中学生まちづくりアンケート調査**

結果報告書【速報版】

2024（令和6）年12月

蟹 江 町

<目次>

1. 住民意識調査	1
調査の概要	1
あなた自身のことについておたずねします。	2
蟹江町の暮らしの満足度などについておたずねします。	5
蟹江町のまちづくりについておたずねします。	9
こどもまんなか社会の実現についておたずねします。	14
地域コミュニティ活動やボランティア活動についておたずねします。	16
これからの蟹江町についておたずねします。	24
 2. 中学生まちづくりアンケート調査	 26
調査の概要	26
回答者の属性	27
蟹江町のまちづくりについて	27

1. 住民意識調査

調査の概要

(1) 調査の趣旨

蟹江町では、令和3年度からスタートした第5次蟹江町総合計画に基づいてまちづくりを進めてきた。

本年度、計画期間の4年目を迎え、前期の実績の評価並びに今後の方向性の見直しに向け、町民の意見を把握し、後期基本計画づくりに反映することが求められる。

そこで、16歳以上の町民3,000人を対象に、蟹江町の住みやすさや定住意向、施策項目ごとの評価などをたずねるとともに、今後のまちづくりの方向性についての考えを把握するためにアンケート調査を実施した。

(2) 調査対象

令和6年6月1日現在の住民基本台帳において、16歳以上の住民の中から、無作為に3,000人を調査対象とした。

(3) 調査方法

調査票は、住民基本台帳の登録住所宛に郵送配布し、蟹江町役場宛で郵送回収もしくは、調査委託先である一般社団法人地域問題研究所が設計したインターネット回答システムへの回答受付、いずれかの手法をとった。

調査票は、大半を選択式とし、各設問1つあるいは複数の○をつける形式とした。

(4) 調査時期

調査票の発送：2024年7月26日（金）

投函の締切日：2024年8月19日（月）

※2024年9月2日（月）到着分までを回収数に入れ、集計した。

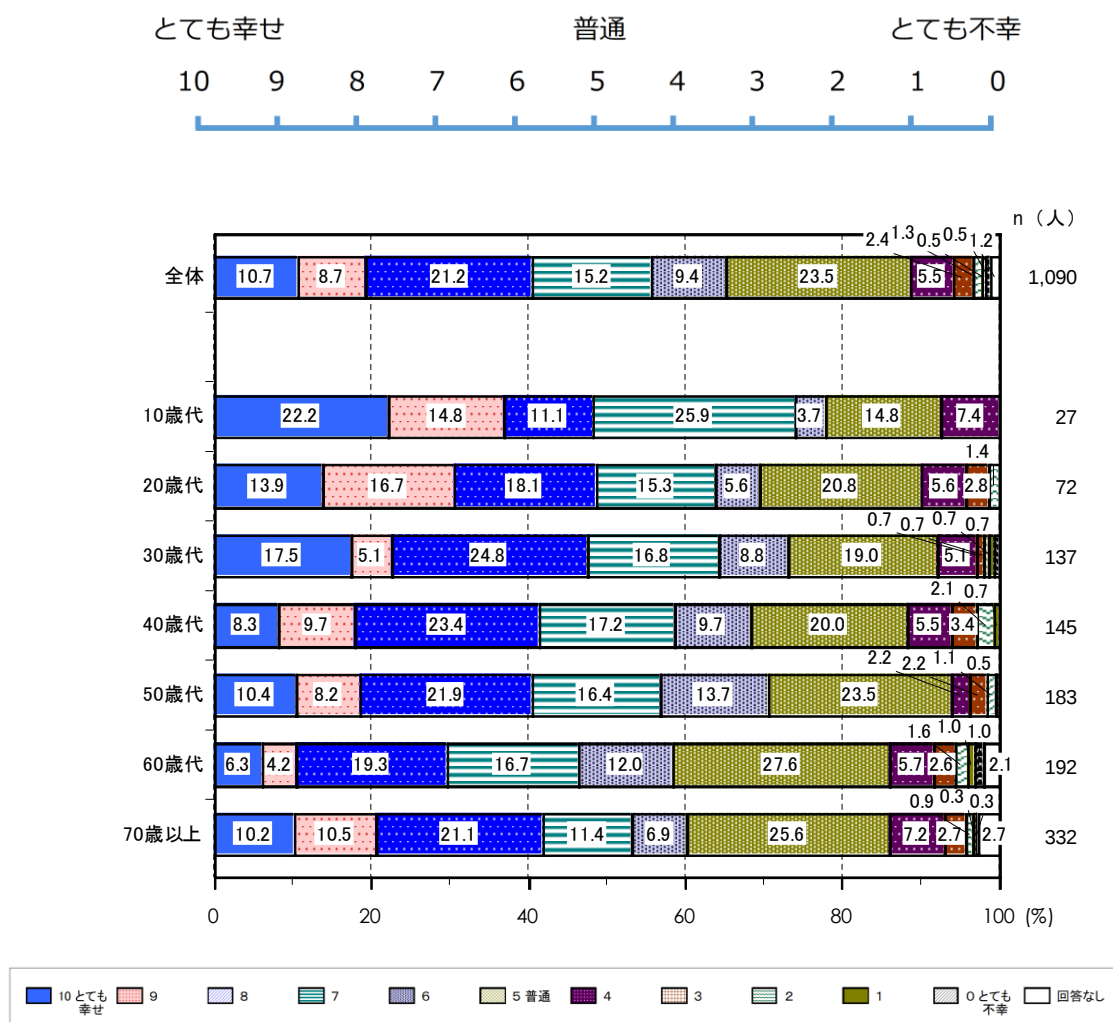
(5) 配布数・回収数

発送数	3,000通（うち10通が宛名不明で返送）
回収数	1,090通
有効回答数	36.5%

あなた自身のことについておたずねします。

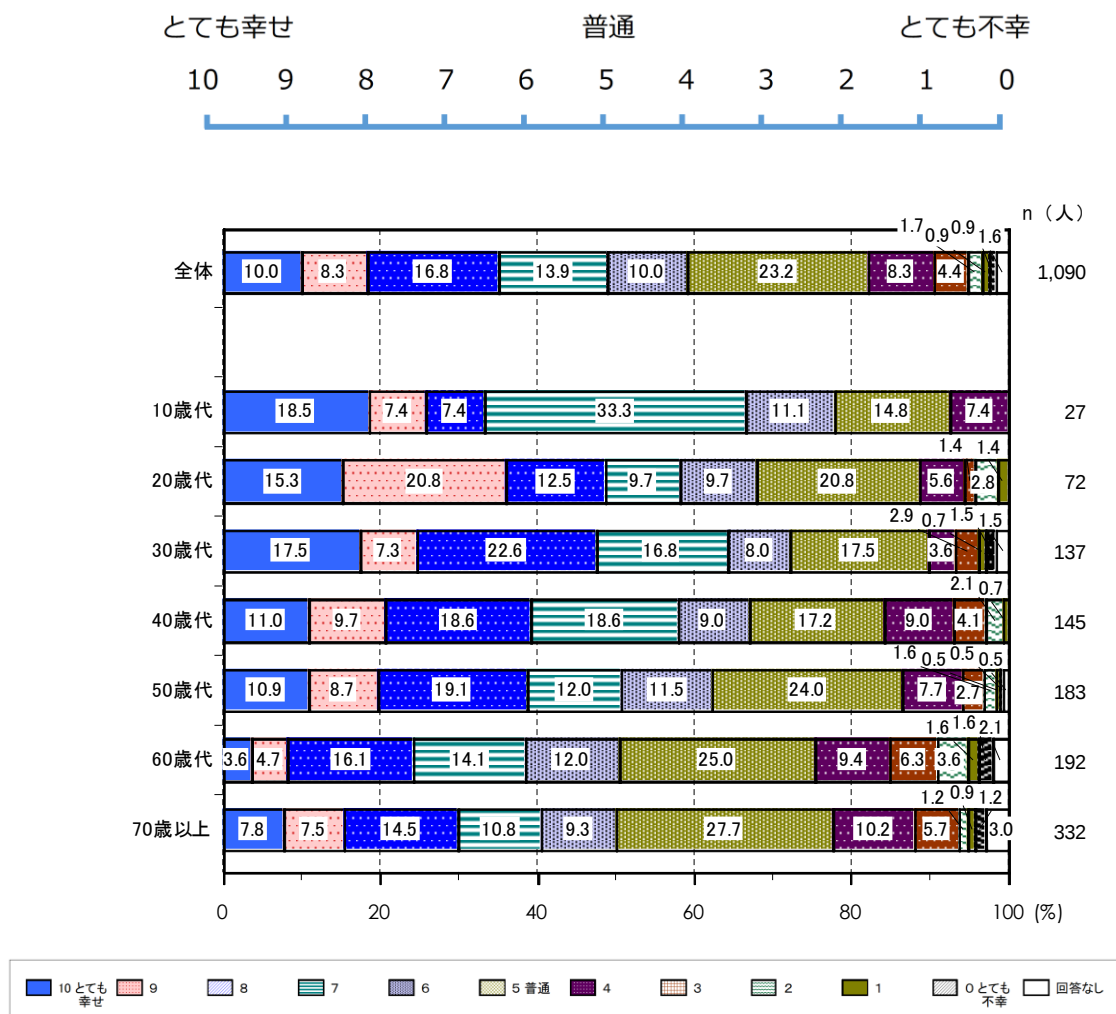
問8 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。お考えに近い数字を1つお答えください。

- ・ 幸せの度合い（程度）を0～10点でたずねたところ、「5点」（23.5%）が最も多く、次いで「8点」（21.2%）となっている。「10点」～「8点」を合わせると約4割を占める。
- ・ 年齢別でみると、「10点」～「9点」では、10歳代（計37.0%）及び20歳代（計30.6%）で全体より10ポイント以上多くなっているほか、10歳代では「10点」～「7点」（計74.0%）が約3/4を占める。



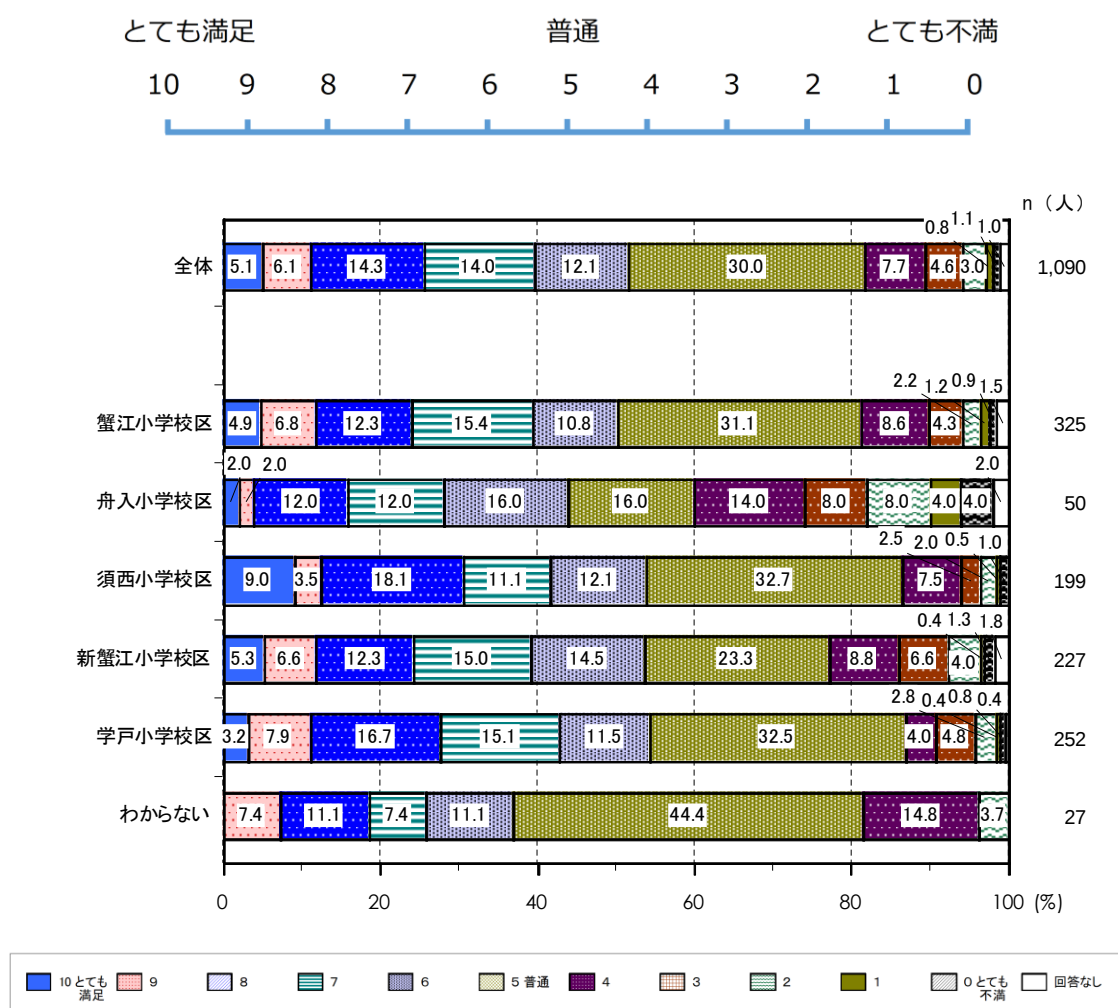
問9 今から5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。

- ・今から5年後の幸せの度合い（程度）を0～10点でたずねたところ、現状と同じく「5点」（23.2%）が最も多いものの、「10点」から「6点」までのすべてで、現状よりわずかながら少なくなっている。
- ・年齢別でみると、概して年齢が高くなるほど点数は低くなる傾向にある。
- ・具体的には、10歳代では「10点」～「9点」（計25.9%）で全体よりやや多いほか、20歳代、30歳代では「10点」～「8点」（20歳代計48.6%、30歳代計47.4%）で全体（計35.1%）より10ポイント以上多くなっている。



問 10 現在あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。

- ・住んでいる地域の暮らしに対する満足の度合い（程度）を 0～10 点でたずねたところ、「5 点」（30.0%）が最も多く、「8 点」が 14.3%で続いている。
- ・小学校区別でみると、舟入小学校区では全体と比べて「5 点」（16.0%）が少ない反面、「4 点」（14.0%）、「2 点」（8.0%）がやや多くなっている。
- ・小学校区がわからないとした回答者は、「5 点」（44.4%）がかなり多くなっているほか、相対的に点数は低くなっている。



蟹江町の暮らしの満足度などについておたずねします。

- 問13 あなたは、(1)～(45)のそれぞれの項目について、どの程度満足していますか。また、(1)～(45)のそれぞれの項目について、今後の行政にあたって、どれくらい重要であると思いますか。
- 各項目の「A. 満足度」と「B. 重要度」それぞれについて、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

- ・町で実施している施策や日常生活等に関する各項目の満足度及び重要度について、下記の方法により5段階の得点をつけ、平均得点を算出した。
- ・この評点を指標として、満足度と重要度の分析を行った。なお、平均得点は、+2に近いほど満足度または重要度が高いことを示し、逆に-2点に近いほど満足度が低い（不満度が高い）、または重要度が低いことを示している。

【満足度・重要度の平均得点の算出方法】

満足度	重要度	得点（評点）
満足	重要	+2点
まあ満足	まあ重要	+1点
どちらとも言えない	どちらとも言えない	±0点
やや不満	あまり重要でない	-1点
不満	重要でない	-2点

満足度の平均得点

= {「満足」の回答者数×(+2点) + 「まあ満足」の回答者数×(+1点) + 「どちらとも言えない」の回答者数×(0点) + 「やや不満」の回答者数×(-1点) + 「不満」の回答者数×(-2点)} ÷ 総回答者数

重要度の平均得点

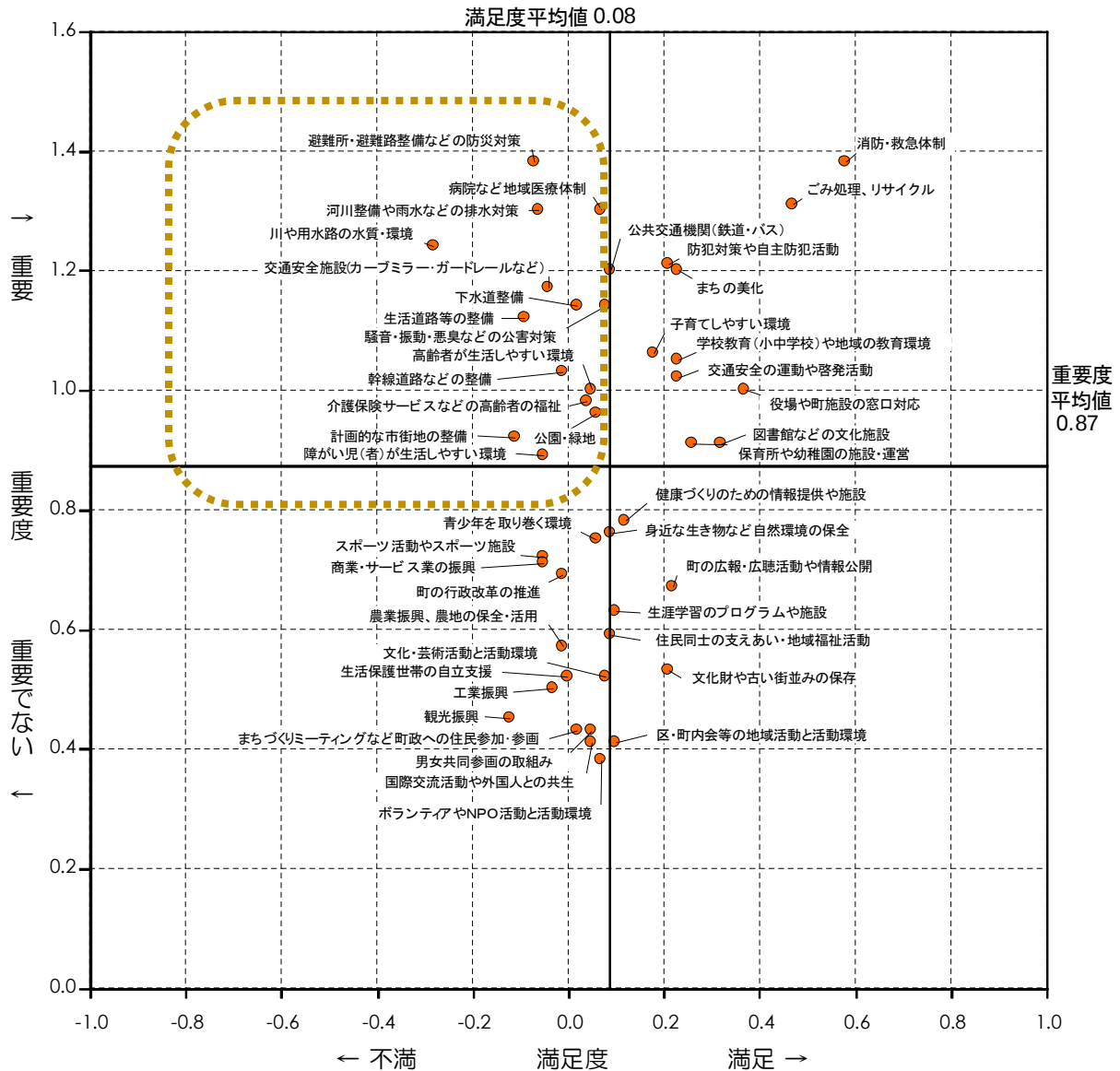
= {「重要」の回答者数×(+2点) + 「まあ重要」の回答者数×(+1点) + 「どちらとも言えない」の回答者数×(0点) + 「あまり重要でない」の回答者数×(-1点) + 「重要でない」の回答者数×(-2点)} ÷ 総回答者数

- ・なお、前回との比較については、0.1ポイント以上の変化があった項目について‘改善した’もしくは‘悪化した’と評価することとする。
- ・同様に、クロス集計時の全体との比較についても、0.1ポイント以上の差が生じたものを分析対象とする。

- ・満足度を縦軸、重要度を横軸にそれぞれの値を散布図に落とし込んだものが次図である。
相対的に満足度が低く、重要度が高い項目（左上・赤点線部分）にある施策への重点的な取り組みが求められる。

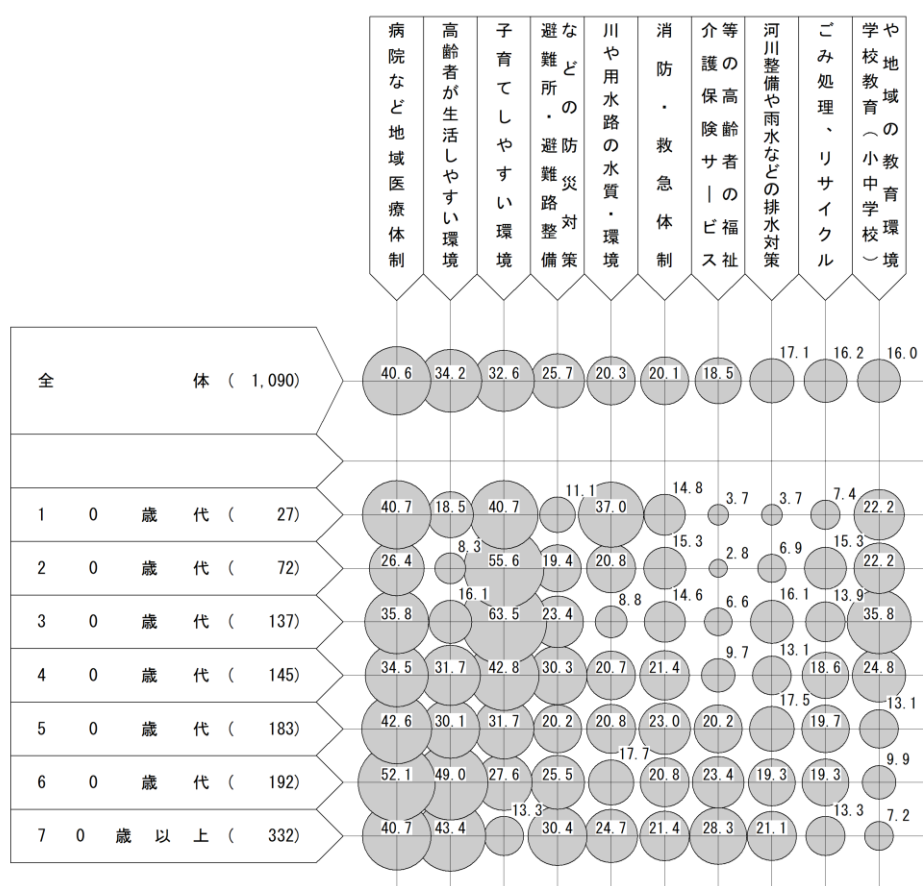
※満足度が低い順に記載

A：重要度が高く、満足度が低い	C:重要度が高く、満足度が高い
● 川や用水路の水質・環境 ● 計画的な市街地の整備 ● 生活道路等の整備 ● 避難所・避難路整備などの防災対策 ● 河川整備や雨水などの排水対策 ● 障がい児（者）が生活しやすい環境 ● 交通安全施設(カーブミラー・ガードレールなど) ● 幹線道路などの整備 ● 下水道整備 ● 介護保険サービスなどの高齢者の福祉 ● 高齢者が生活しやすい環境 ● 公園・緑地 ● 病院など地域医療体制 ● 騒音・振動・悪臭などの公害対策	● 公共交通機関（鉄道・バス） ● 子育てしやすい環境 ● 防犯対策や自主防犯活動 ● まちの美化 ● 学校教育（小中学校）や地域の教育環境 ● 交通安全の運動や啓発活動 ● 保育所や幼稚園の施設・運営 ● 図書館などの文化施設 ● 役場や町施設の窓口対応 ● ごみ処理、リサイクル ● 消防・救急体制
B：重要度が低く、満足度が低い	D：重要度が低く、満足度が高い
● 観光振興 ● スポーツ活動やスポーツ施設 ● 商業・サービス業の振興 ● 工業振興 ● 町の行政改革の推進 ● 農業振興、農地の保全・活用 ● 生活保護世帯の自立支援 ● まちづくりミーティングなど町政への住民参加・参画 ● 男女共同参画の取り組み ● 国際交流活動や外国人との共生 ● 青少年を取り巻く環境 ● ボランティアやNPO活動と活動環境 ● 文化・芸術活動と活動環境	● 身近な生き物など自然環境の保全 ● 住民同士の支えあい・地域福祉活動 ● 生涯学習のプログラムや施設 ● 区・町内会等の地域活動と活動環境 ● 健康づくりのための情報提供や施設 ● 文化財や古い街並みの保存 ● 町の広報・広聴活動や情報公開



問 14 あなたは、蟹江町がより住みやすいまちになるために、行政が特に力を入れていく必要がある分野は何だとお考えですか。（主なもの5つまで）

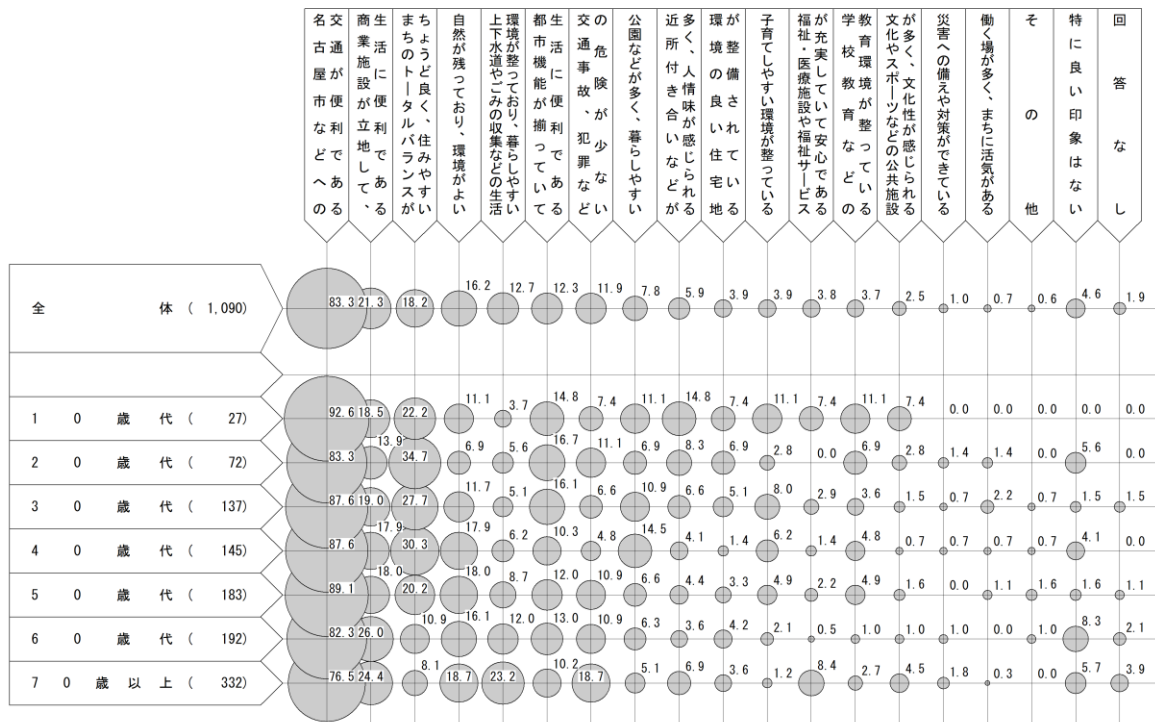
- ・蟹江町がより住みやすいまちになるために行政が力を入れるべき分野をたずねたところ、「病院など地域医療体制」（40.6%）が最も多く、「高齢者が生活しやすい環境」（34.2%）、「子育てがしやすい環境」（32.6%）などが続いている。
- ・年齢別でみると、「子育てがしやすい環境」は20歳代（55.6%）、30歳代（63.5%）で全体より20ポイント以上高くなっており、「高齢者が生活しやすい環境」は60歳代（49.0%）、70歳以上（43.4%）で10ポイント前後高くなっている。また、「学校教育（小中学校）や地域の教育環境」については30歳代（35.8%）で全体より2倍以上高くなっている。



蟹江町のまちづくりについておたずねします。

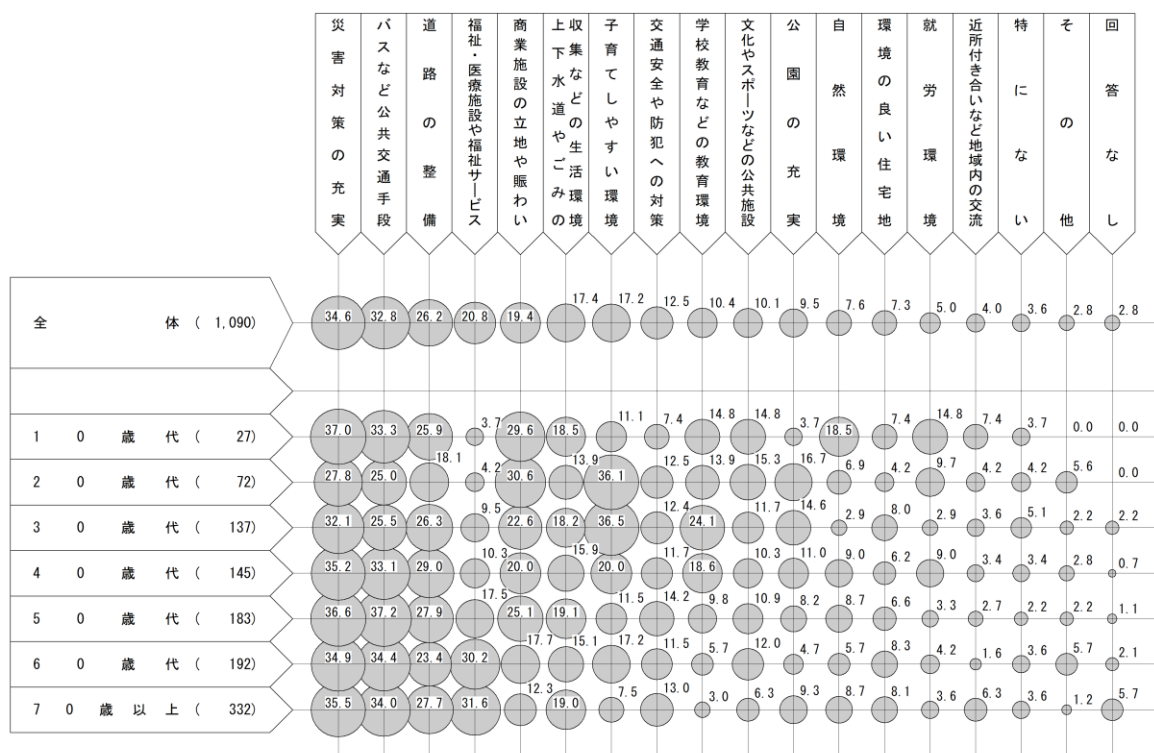
問 15 あなたは、蟹江町に対し、どのような良い印象をお持ちですか。（主なもの3つまで）

- ・蟹江町に対する良い印象について、「名古屋市などへの交通が便利である」が83.3%と最も多く、次いで「商業施設が立地して、生活に便利である」（21.3%）、「まちのトータルバランスがちょうど良く、住みやすい」（18.2%）の順となっており、生活の利便性に関する項目が多くなっている。
- ・年齢別でみると、「まちのトータルバランスがちょうど良く、住みやすい」について、概して40歳代までの若い層ではやや多い一方、70歳以上では全体と比べて10ポイント以上少なくなっている。
- ・「上下水道やごみの収集などの生活環境が整っており、暮らしやすい」は年齢層が上がるほど多くなっている。



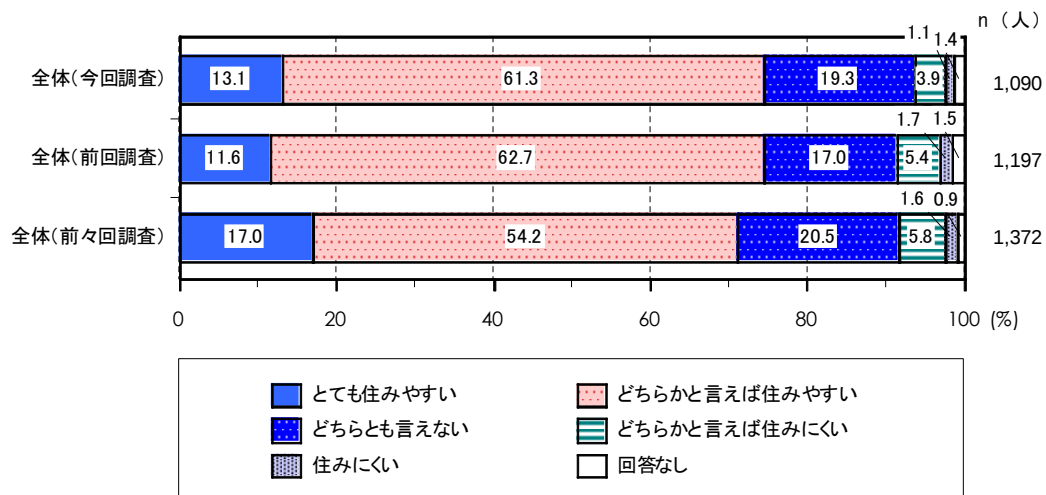
問 16 蟹江町について、改善すべきところ、または、さらに伸ばしてほしいところは何だとお考えですか。（主なもの3つまで）

- ・改善すべきところ、またはさらに伸ばしてほしいところについては、「災害対策の充実」（37.0%）が最も多く、次いで「バスなど公共交通手段」（32.8%）、「道路の整備」（26.2%）、「福祉・医療施設や福祉サービス」（20.8%）の順となっており、安全性や交通の利便性に関する項目への回答が多くなっている。
- ・年齢別でみると、「福祉・医療施設や福祉サービス」では年齢層が上がるにつれて多くなっている一方で、「商業施設の立地や賑わい」は、概して年齢層が上がるにつれて少なくなっている。
- ・また、「子育てしやすい環境」について、20歳代（36.1%）と30歳代（36.5%）が全体を大幅に上回り、さらに「学校教育などの教育環境」は30歳代（24.1%）や40歳代（18.6%）が全体よりも多く、10歳代を除く若い年齢層では子どもに関する項目への回答が多くなっている。
- ・10歳代では、「自然環境」（18.5%）が全体や他の年齢層と比べてやや多くなっている。



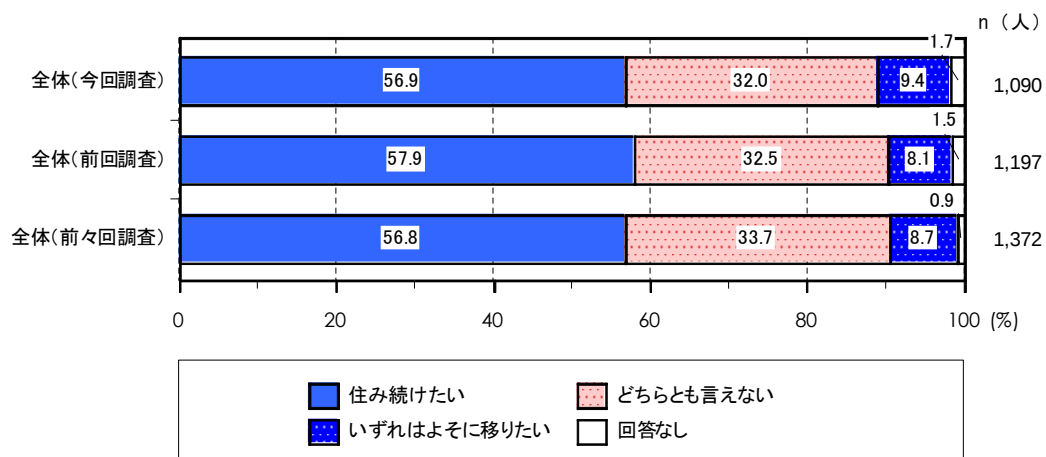
問 17 あなたは、蟹江町が住みやすいまちだと思いますか。(あてはまるもの1つ)

- ・蟹江町の住みやすさについて、「どちらかといえば住みやすい」(61.3%) が最も多く、次いで「住みやすい」(13.1%) を合わせると7割以上を占めている。
- ・前回調査との比較では、特筆すべき変化は見られないが、前々回調査からは「どちらかといえば住みやすい」がやや多くなっている。



問 18 あなたは、今後も蟹江町に住み続けたいと考えていますか。(あてはまるもの1つ)

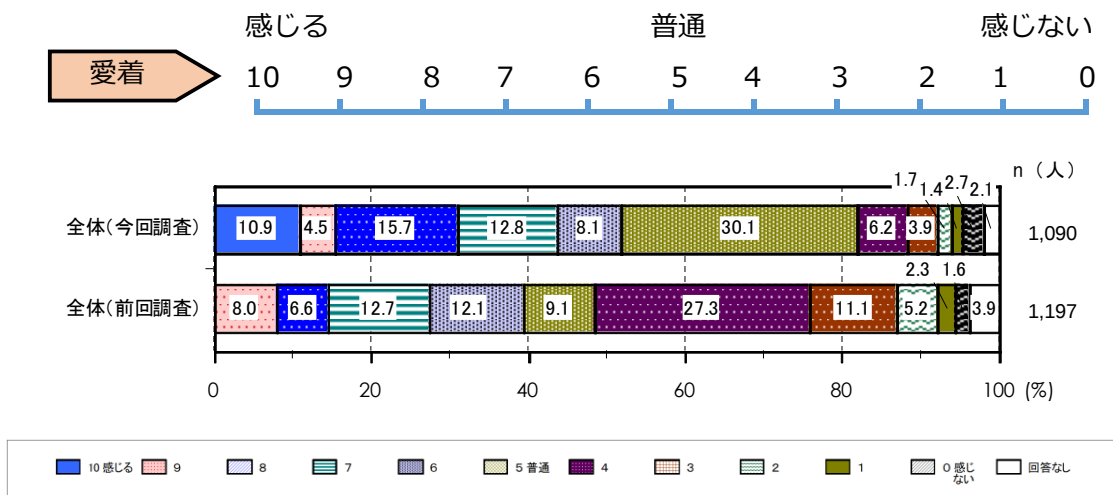
- ・蟹江町の今後の定住意向について、「住み続けたい」が 56.9%で6割近くを占め、次いで、「どちらとも言えない」(32.0%) となっている。
- ・前回調査や前々回調査との比較では、特筆すべき変化はみられない。



問 19 あなたは、蟹江町に愛着や誇りを感じますか。また、友人・知人にお勧めできますか。項目ごとに、お考えに近い数字を選んでください。

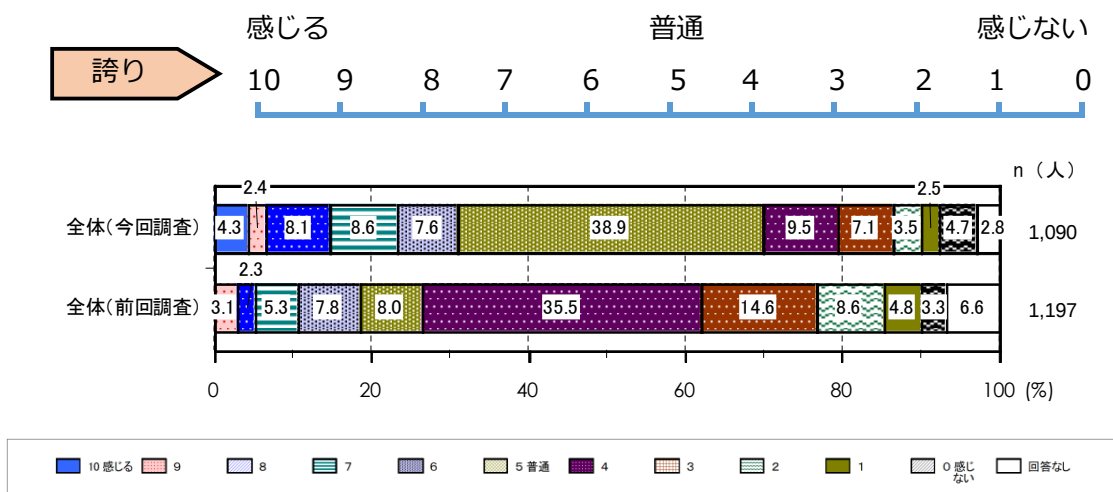
【愛着】

- ・蟹江町に対する愛着の度合い（程度）を0～10点でたずねたところ、「5点」が30.1%と最も多く、評価が普通よりも高い「10点」～「6点」を合わせると過半数を占めている。
- ・前回調査と比較すると、「10点」～「8点」の回答の合計が増加（14.6%⇒31.1%）し、普通より評価がやや低い「4」が大幅に減少（27.3%⇒6.2%）している。



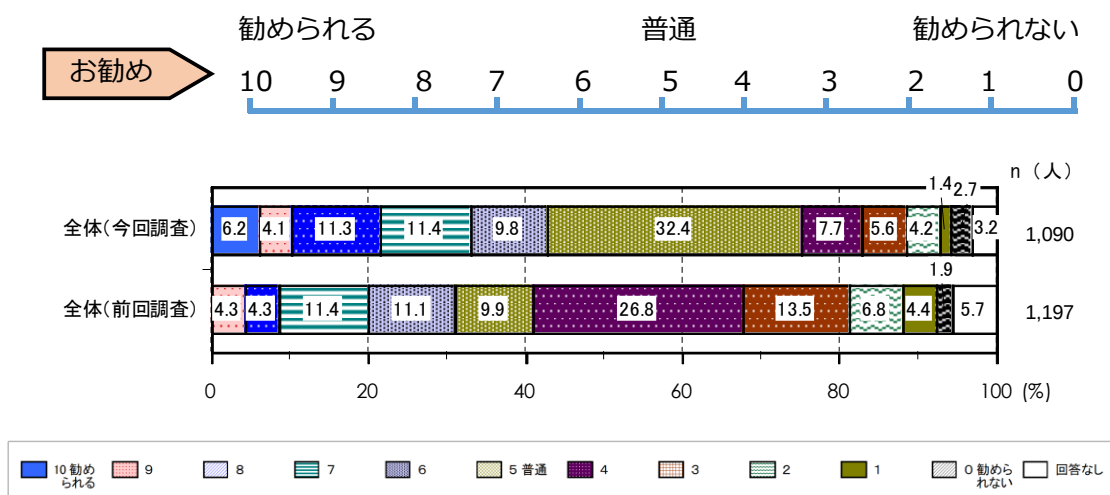
【誇り】

- ・蟹江町に対する誇りの度合い（程度）を0～10点でたずねたところ、「5点」（38.9%）が最も多くなっている。「10点」～「8点」の合計が14.8%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「10点」～「8点」は大幅に増加（5.4%⇒14.8%）している。
- ・また、「5点」が大幅に増加（8.0%⇒38.9%）しており、普通よりもやや評価の低い「4点」が大幅に減少（35.5%⇒9.5%）している。



【お勧め】

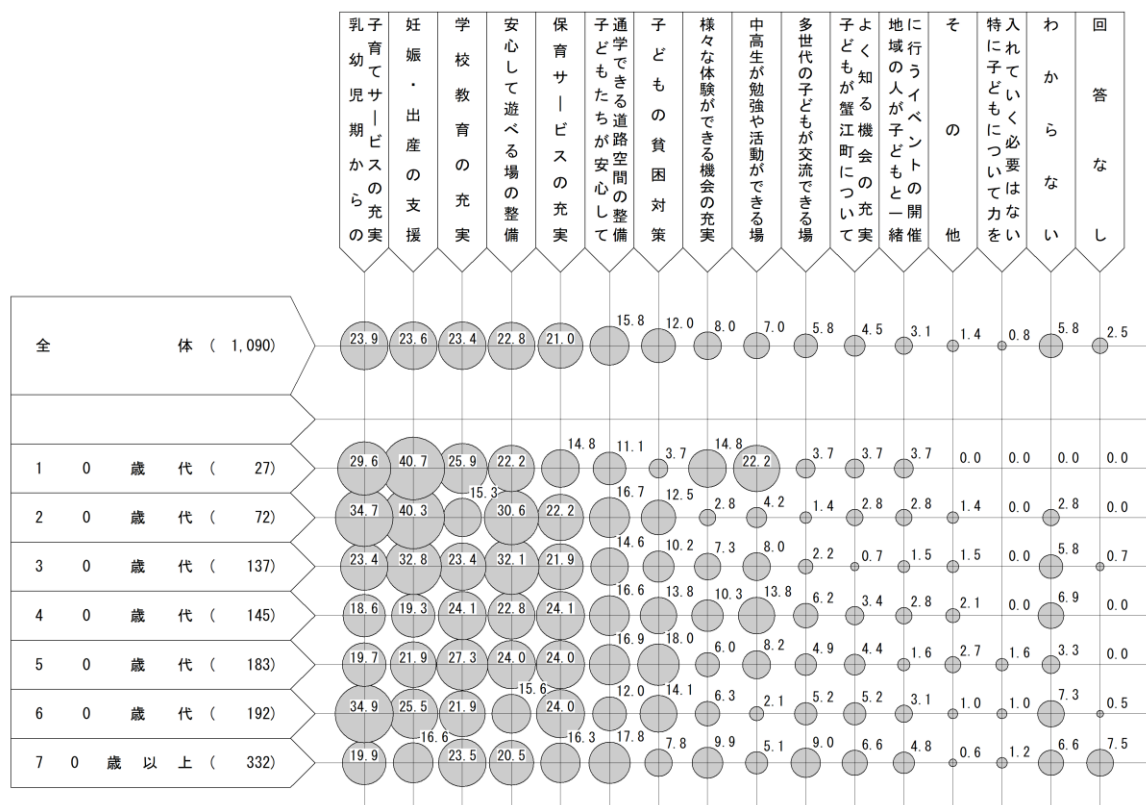
- ・蟹江町を勧める度合い（程度）を 0～10 点でたずねたところ、「5 点」が 32.4%と最も多く、「10 点」～「8 点」の合計は 27.8%と 3 割程度となっている。
- ・前回調査と比較すると、「10 点」～「8 点」が大幅に増加（8.6%⇒27.8%）している。
- ・また、「5 点」が大幅に増加（9.9%⇒32.4%）している一方で、普通よりやや評価の低い「4 点」が大幅に減少（53.4%⇒21.6%）している。



こどもまんなか社会の実現についておたずねします。

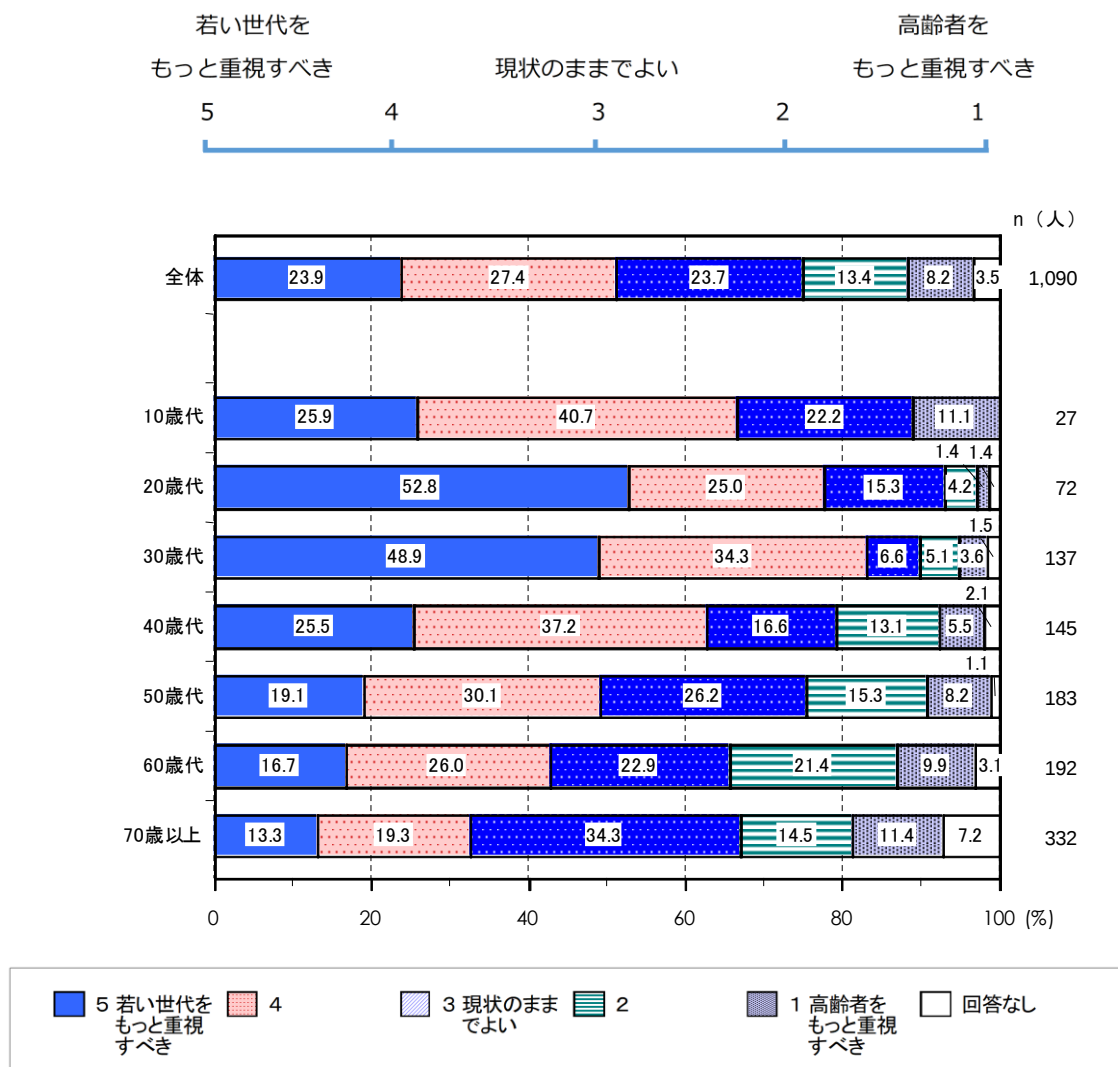
問20 あなたは、次代を担う子どもたちが蟹江町で健やかに育つためには、どのようなことに力を入れていくのがよいとお考えですか。(特に力を入れるものを2つまで)

- ・子どもが蟹江町で健やかに育つために力を入れていくとよい施策についてたずねたところ、「乳幼児期からの子育てサービスの充実」が23.9%と最も多く、次いで「妊娠・出産の支援」(23.6%)、「学校教育の充実」(23.4%)、「安心して遊べる場の整備」(22.8%)の順となっている。
- ・年齢別でみると、各年齢層において全体よりも回答が多い項目は、10歳代では「妊娠・出産の支援」(40.7%)、「中高生が勉強や活動ができる場」(22.2%)等、20歳代では「妊娠・出産の支援」(40.3%)、「乳幼児期からの子育てサービスの充実」(34.7%)等、30歳代では「妊娠・出産の支援」(32.8%)、「安心して遊べる場の整備」(32.1%)等と、それぞれ当事者となる人が多い項目での回答が多いことがうかがえる。
- ・「乳幼児期からの子育てサービスの充実」については、若い年齢層のほか、60歳代(63.9%)でも全体と比べて10ポイント以上多くなっている。



問 21 あなたは、今後の蟹江町の町政全般において高齢者や若い世代に対する対応をどのようにしていくべきだとお考えですか。お考えに近い数字を選んでください。

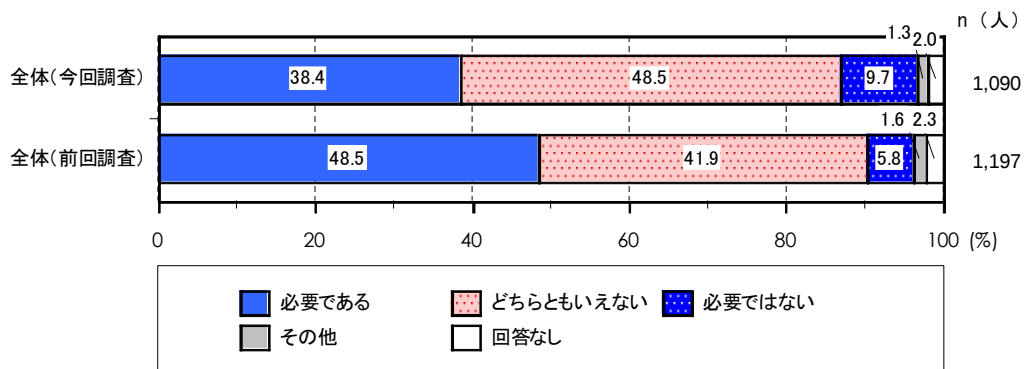
- ・今後の蟹江町の町政全般についての考えについて、「若い世代をもっと重視すべき」を「5点」、「現状のままでよい」を「3点」、「高齢者をもっと重視すべき」を「1点」としてたずねたところ、「4点」が27.4%と最も多く、「1点」は8.2%と最も少なくなっている。
- ・年齢別でみると、若い世代への施策の重視を求める「5点」と「4点」の合計は、40歳代までの年齢層では全体（51.3%）と比べて大幅に多くなっている（10歳代：66.6%、20歳代：77.8%、30歳代：83.2%、40歳代：62.7%）。特に、20歳代、30歳代では「5点」の回答が半数程度を占めている。
- ・高齢者への施策の重視を求める「2点」と「1点」の合計は、60歳代（31.3%）が全体（21.6%）よりもやや多くなっている。



地域コミュニティ活動やボランティア活動についておたずねします。

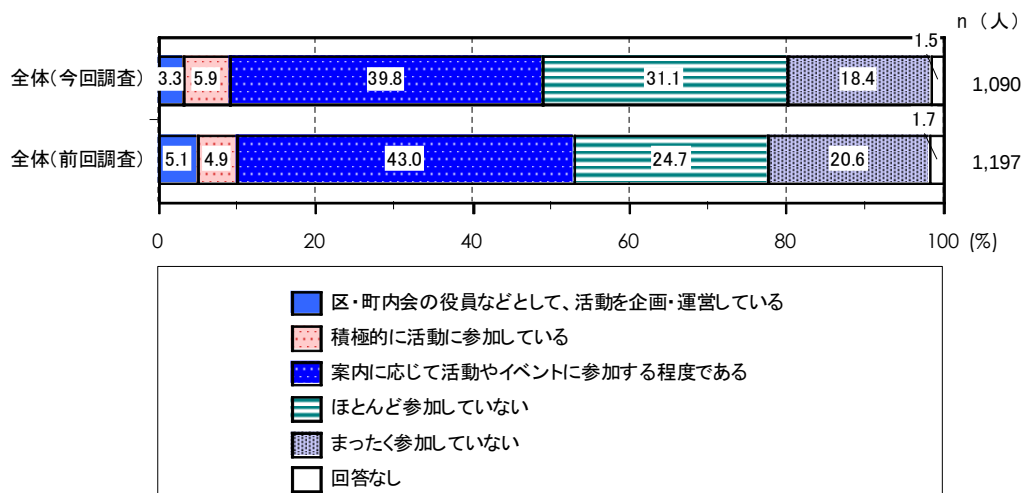
問 22 あなたは、区・町内会などの地域コミュニティ活動について、どのように考えていますか。(あてはまるもの1つ)

- ・地域コミュニティ活動の必要性について、「どちらともいえない」(48.5%)がおよそ半数を占めており、次いで「必要である」(38.4%)、「必要ではない」(9.7%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「必要である」が10ポイントほど減少(48.5%⇒38.4%)している。



問 23 あなたは、区・町内会などの地域コミュニティ活動にどの程度参加していますか。(あてはまるもの1つ)

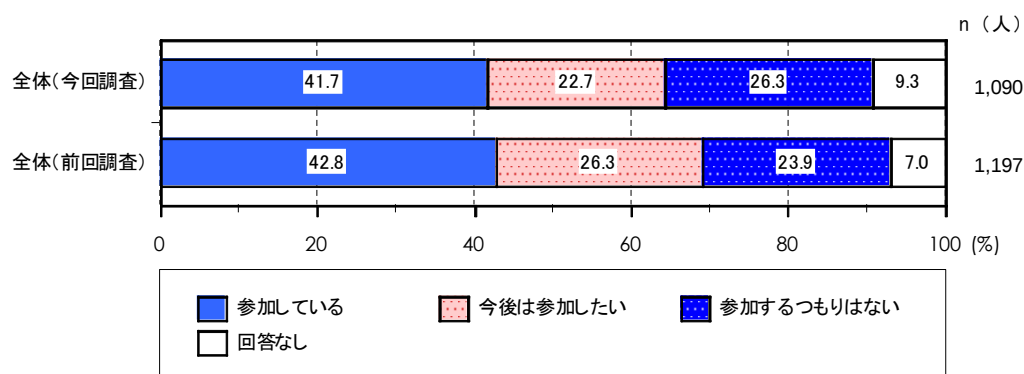
- ・地域コミュニティ活動への参加の程度については、「ほとんど参加していない」が31.1%、「まったく参加していない」が18.4%と、およそ半数が地域コミュニティへの参加をしていない状況にある。
- ・前回調査と比較すると、「ほとんど参加していない」がやや増加(24.7%⇒31.1%)している。



問 24 あなたは蟹江町において、どのような活動に参加していますか。または、参加したいと思いますか。(1)～(10)のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。また、(1)～(10)以外に参加している活動がありましたら、(11)の()に具体的にご記入ください。

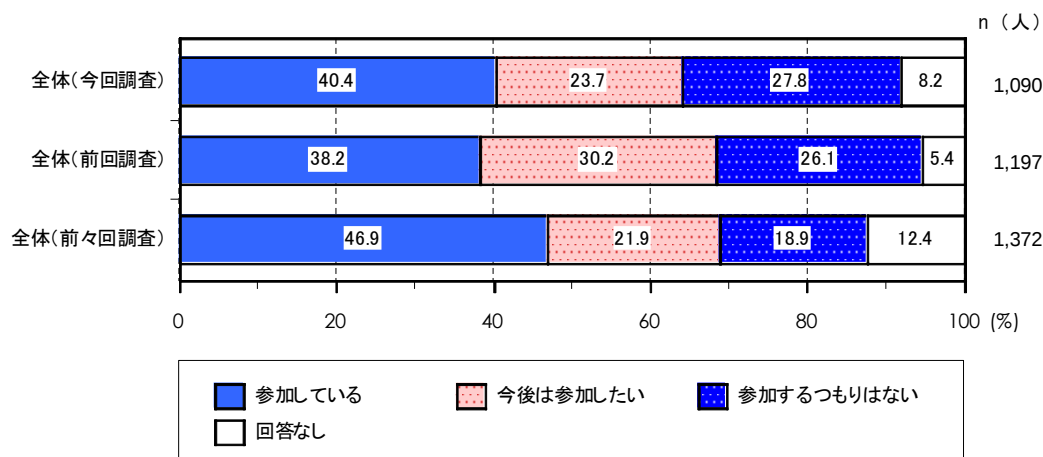
(1) 地域行事（イベント・おまつりなど）

- ・蟹江町の地域行事について、「参加している」（41.7%）が最も多く、「今後は参加したい」（22.7%）と合わせるとおよそ6割が参加への関心がある。
- ・前回調査と比較すると、特筆すべき変化はみられない。



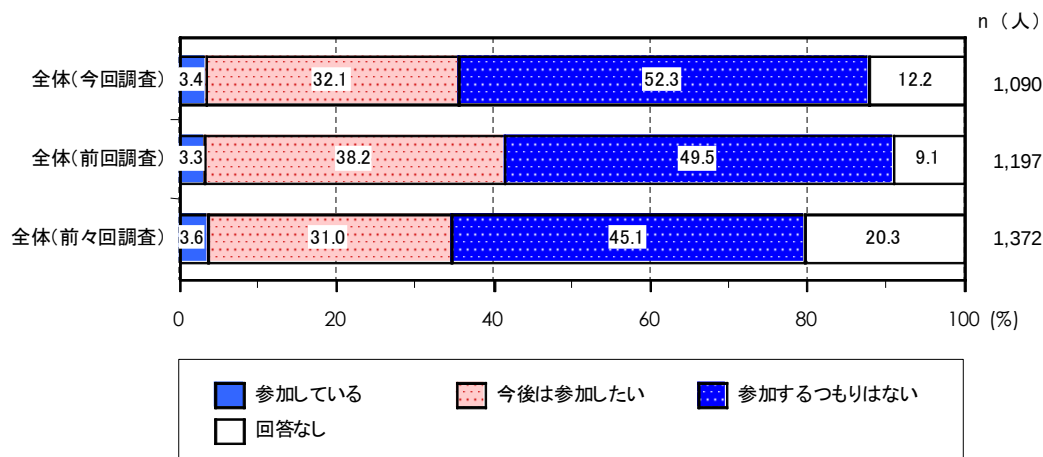
(2) 環境美化・リサイクル活動（道路のゴミ拾い・町の一斉清掃など）

- ・蟹江町の環境美化・リサイクル活動について、「参加している」（40.4%）と「今後は参加したい」（23.7%）を合わせると、およそ6割が活動への参加の関心がある。
- ・前回調査と比較すると、「今後は参加したい」がやや減少（30.2%⇒23.7%）している。



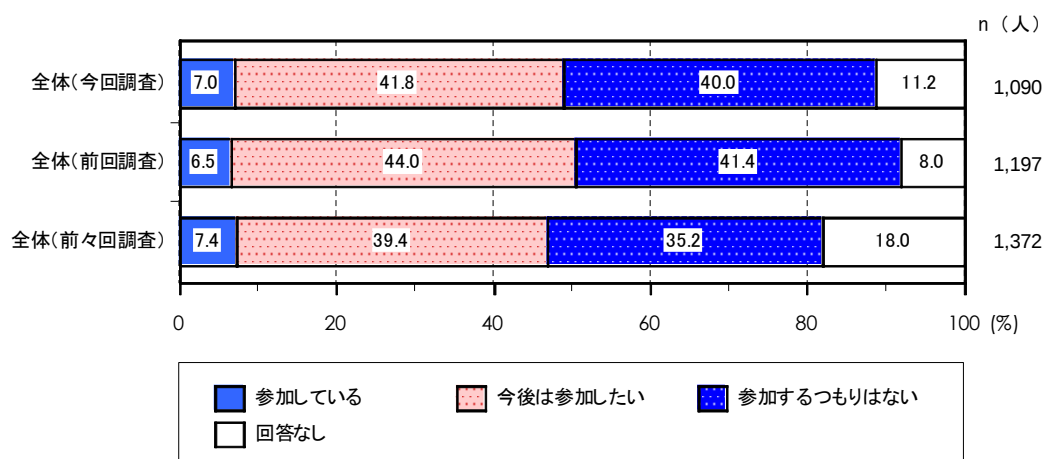
(3) 福祉活動（高齢者・障がい者の見守り活動など）

- ・蟹江町の福祉活動について、「参加している」（3.4%）と「今後は参加したい」（32.1%）を合わせると、3割強が活動への関心がある。
- ・前回調査と比較すると、「今後は参加したい」がやや減少（38.2%⇒32.1%）している。また、「参加するつもりはない」は前々回調査、前回調査、今回調査で徐々に増加（45.1%⇒49.5%⇒52.3%）している。



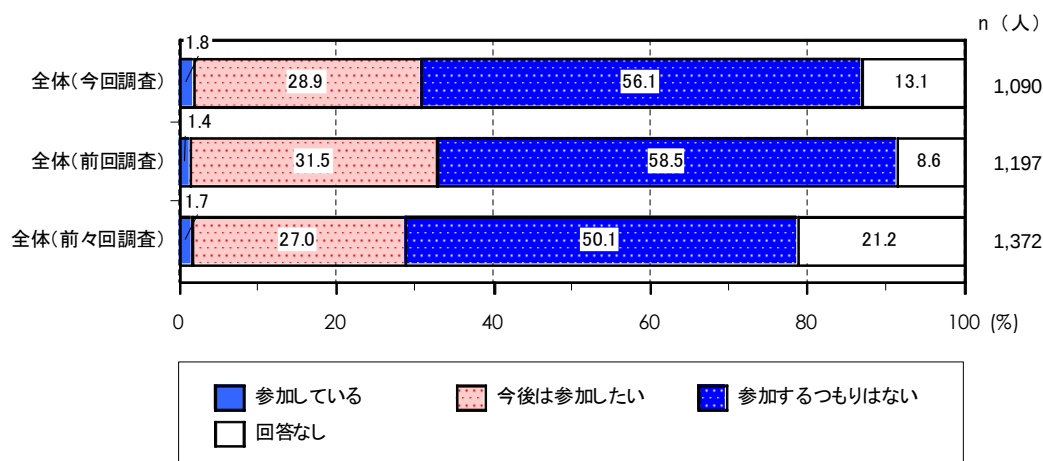
(4) 健康の維持・増進に関する活動

- ・健康の維持・増進に関する活動について、「参加している」（7.0%）と「今後は参加したい」（41.8%）を合わせると、約5割が活動について関心がある。
- ・前回調査や前々回調査と比較すると、特筆すべき変化はみられない。



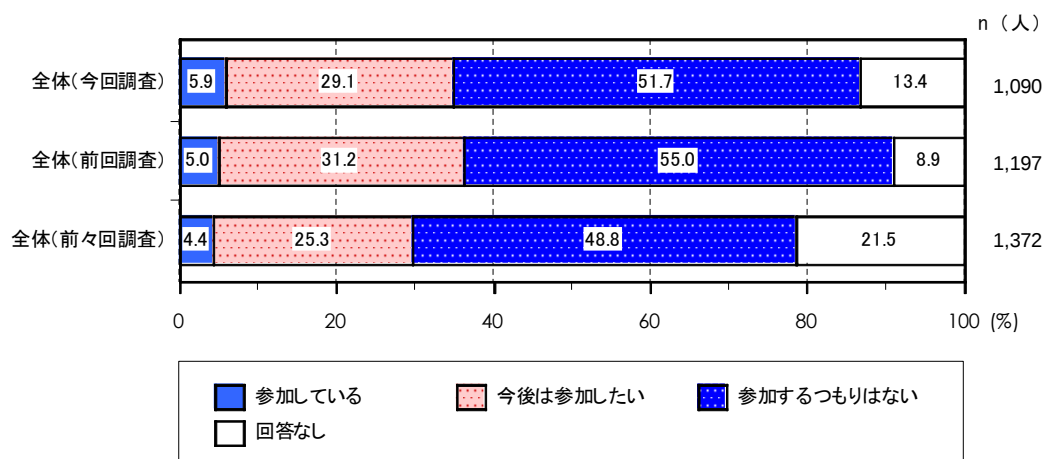
(5) 青少年の健全育成に関する活動

- ・青少年の健全育成に関する活動について、「参加している」(1.8%)と「今後は参加したい」(28.9%)を合わせると、3割程度を占める。
- ・前回調査と比較すると、特筆すべき変化はみられないが、前々回調査との比較では、「参加するつもりはない」がやや増加(50.1%⇒56.1%)している。



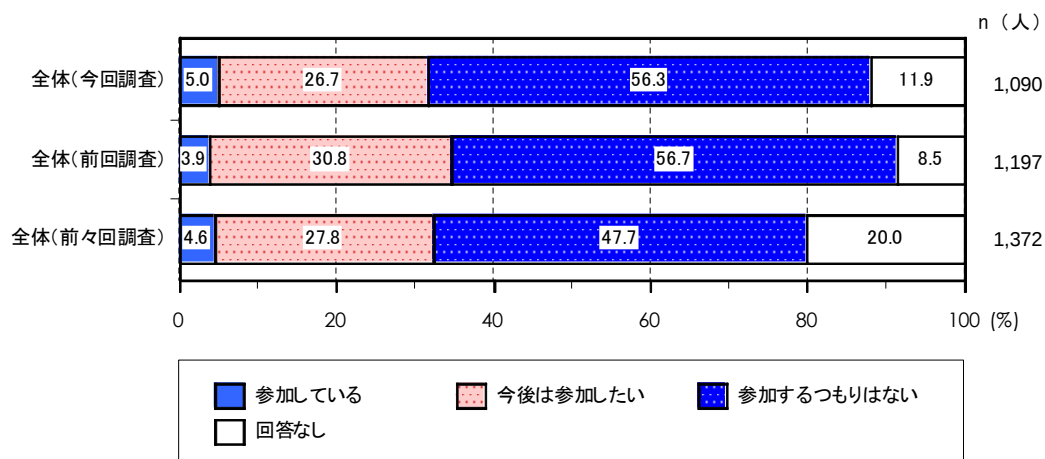
(6) 育児・子育てに関する活動

- ・育児・子育てに関する活動について、「参加している」(5.9%)と「今後は参加したい」(29.1%)を合わせると、3割強を占める。
- ・前回調査や前々回調査と比較すると、特筆すべき変化はみられない。



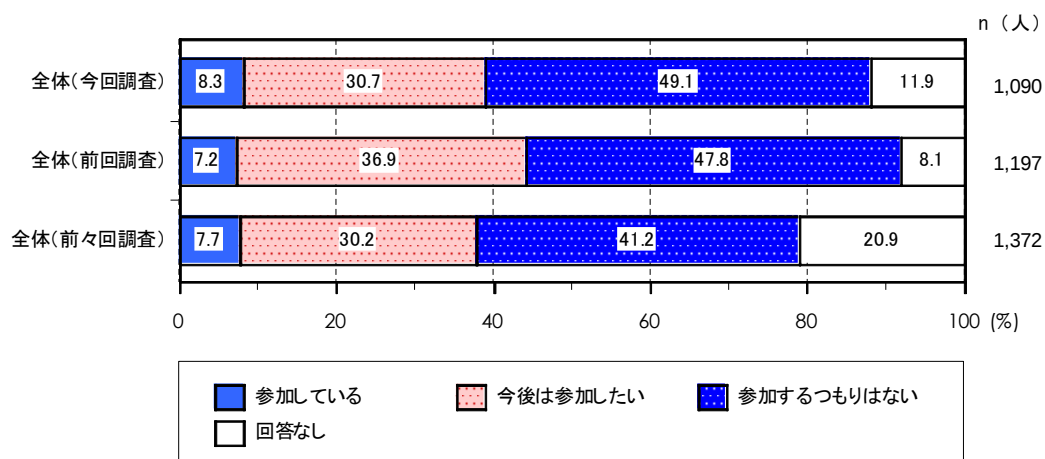
(7) 防犯活動（巡回パトロールなど）

- ・防犯活動について、「参加している」（5.0%）と「今後は参加したい」（26.7%）を合わせると、約3割を占める。
- ・前回調査や前々回調査と比較すると、特筆すべき変化はみられない。



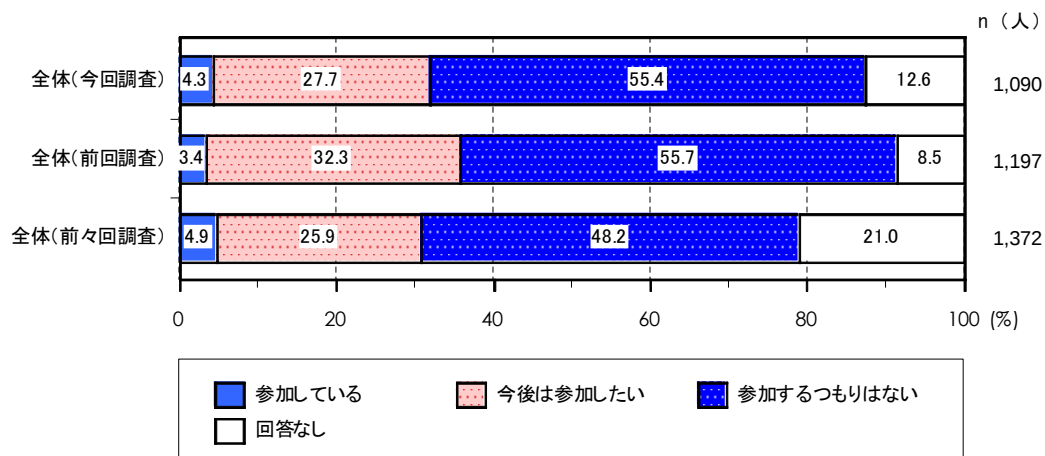
(8) 防災活動(自主防災会など)

- ・防災活動について、「参加している」（8.3%）と「今後は参加したい」（30.7%）を合わせると、4割弱を占める。
- ・前回調査と比較すると、特筆すべき変化はみられないが、前々回調査と比較すると、「参加するつもりはない」がやや増加（41.2%⇒49.1%）している。



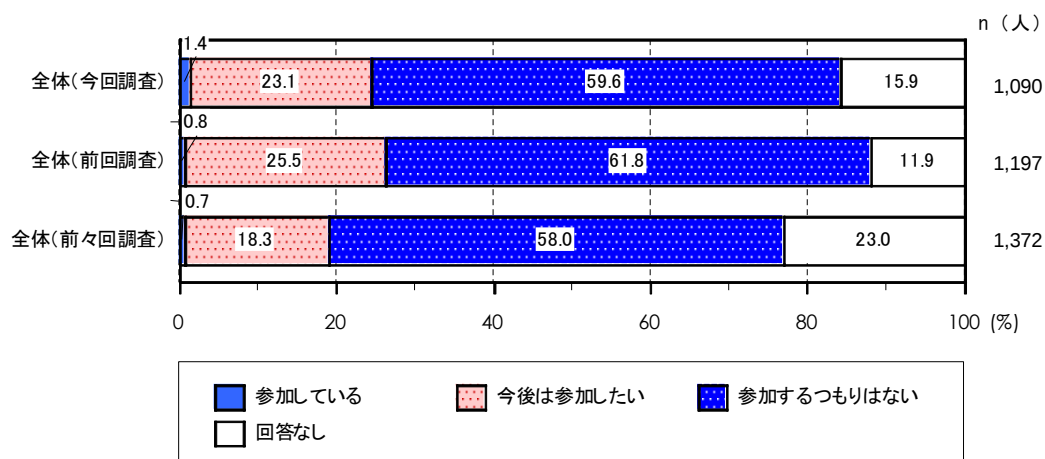
(9)交通安全活動

- ・交通安全活動について、「参加している」(4.3%)と「今後は参加したい」(27.7%)を合わせると、3割程度を占めている。
- ・前回調査や前々回調査と比較すると、特筆すべき変化はみられない。



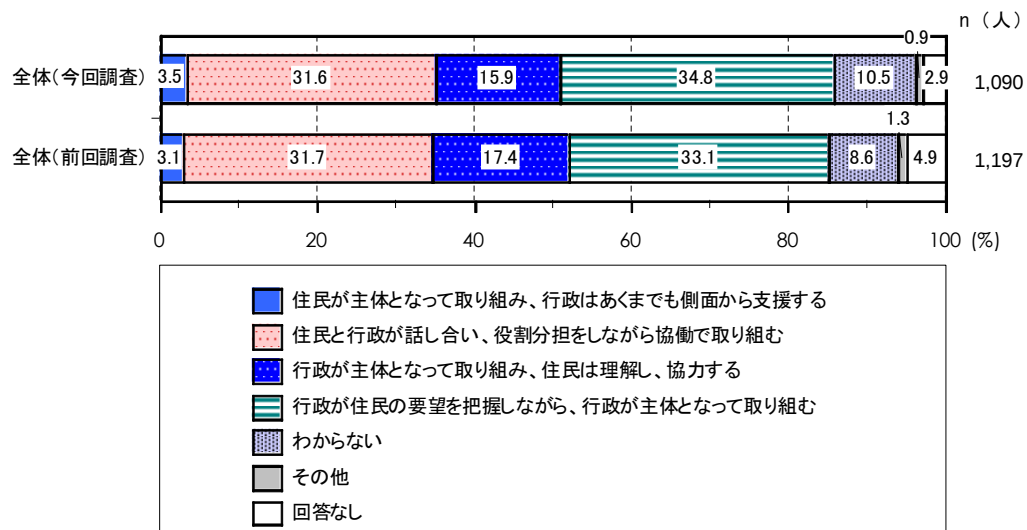
(10) 国際交流活動

- ・国際交流活動について、「参加している」(1.4%)と「今後は参加したい」(23.1%)を合わせると、2割強を占める。
- ・前回調査や前々回調査と比較すると、特筆すべき変化はみられない。



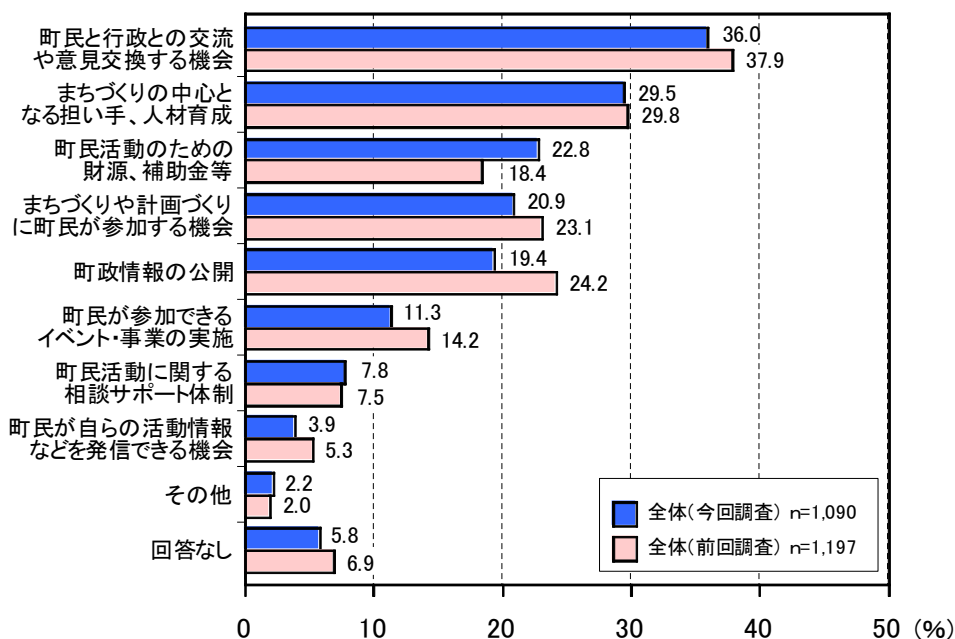
問 25 あなたは、お住まいの地域をより良くするために、どのような方法でまちづくりを進めるのが望ましいと思いますか。（あてはまるもの1つ）

- ・今後のまちづくりの進め方についてたずねたところ、「行政が住民の要望を把握しながら、行政が主体となって取り組む」（34.8%）が最も多く、次いで「住民と行政が話し合い、役割分担をしながら協働で取り組む」（31.6%）、「行政が主体となって取り組み、住民は理解し、協力する」（15.9%）の順となっている。
- ・前回調査と比較すると、特筆すべき変化はみられない。



問 26 あなたは、町民と行政が協働してまちづくりを行ううえで、何が必要だと思いますか。（主なもの2つまで）

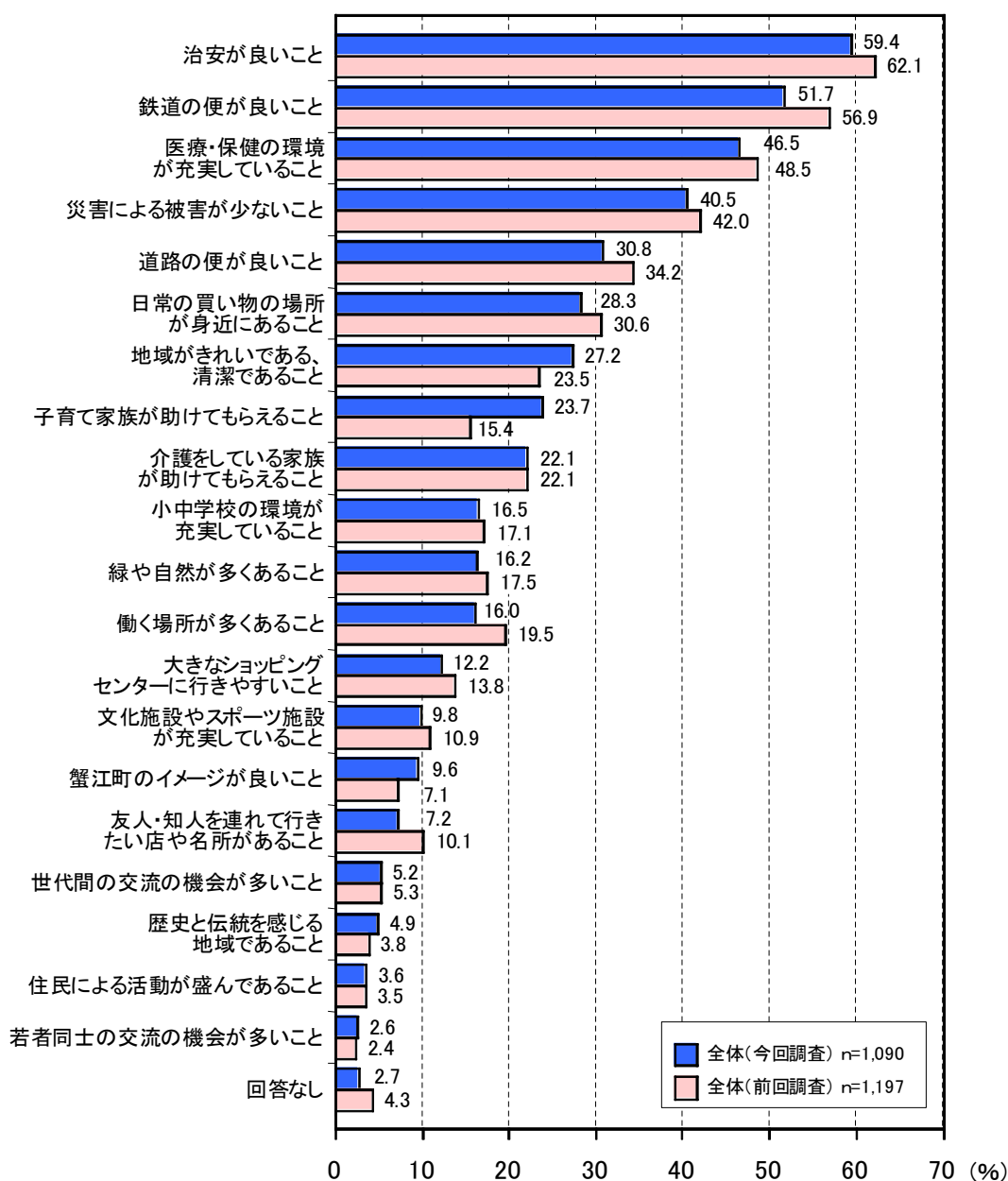
- ・町民と行政が協働してまちづくりを進めるにあたって必要なことについてたずねたところ、「町民と行政との交流や意見交換する機会」（36.0%）が最も多く、「まちづくりの中心となる担い手、人材育成」（29.5%）、「町民活動のための財源、補助金等」（22.8%）の順で続いている。
- ・前回調査と比較すると、特筆すべき変化はみられないが、「町政情報の公開」がやや減少（24.2%⇒19.4%）している。



これからの蟹江町についておたずねします。

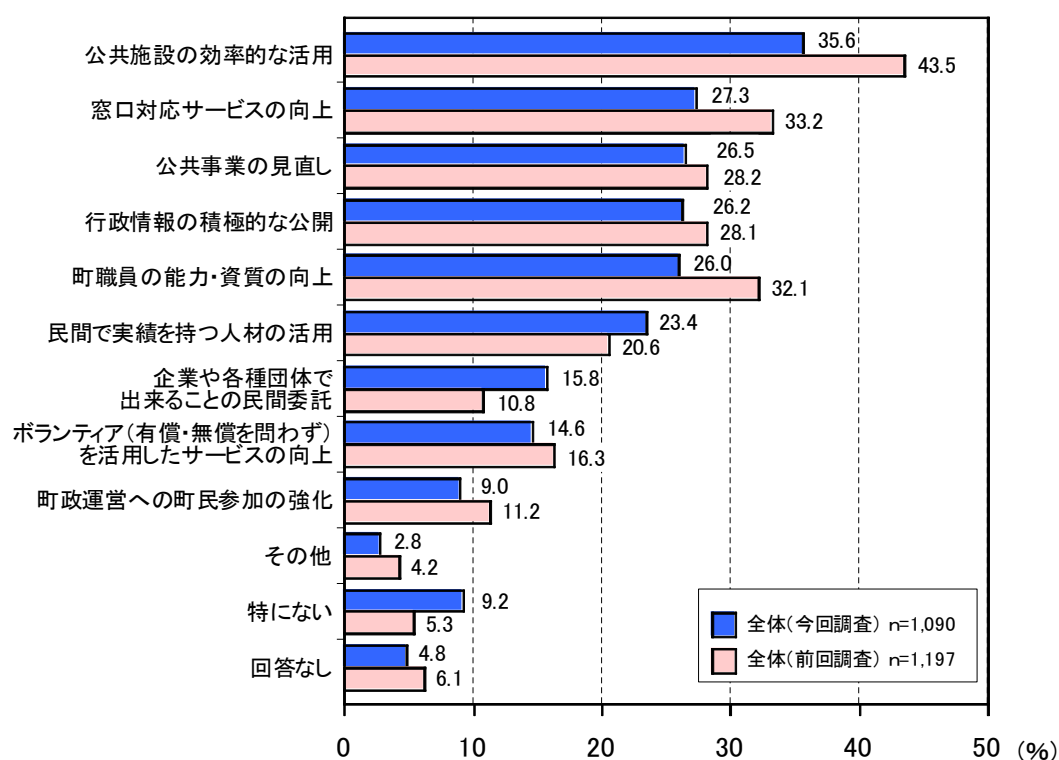
問 27 あなたは、蟹江町が魅力あり住みやすい町であるためには、どのようなことが特に大切だと思いますか。(特に大事だと思うもの5つまで)

- ・住みやすい町であるために大切なことについては、「治安が良いこと」(59.4%)が最も多く、次いで「鉄道の便が良いこと」(51.7%)、「医療・保健の環境が充実していること」(46.5%)、「災害による被害が少ないこと」(40.5%)、「道路の便が良いこと」(30.8%)の順になっており、安全性と交通の利便性に関する項目が高くなっている。
- ・前回調査と比較すると、「子育て家族が助けてもらえること」が増加(15.4%⇒23.7%)している。



問 28 蟹江町の行政運営（町の取組）について、今後どのようなことを望みますか。（主なもの3つまで）

- ・行政運営に対して望むことについてたずねたところ、「公共施設の効率的な活用」が35.6%と最も多く、次いで「窓口対応サービスの向上」(27.3%)、「公共事業の見直し」(26.5%)、「行政情報の積極的な公開」(26.2%)の順となっている。
- ・前回調査と比較して、「企業や各種団体で出来ることの民間委託」は増加(10.8%⇒15.8%)している一方で減少している項目は、「公共施設の効率的な活用」(43.5%⇒35.6%)、「窓口対応サービスの向上」(33.2%⇒27.3%)、「町職員の能力・資質の向上」(32.1%⇒26.0%)となっている。



2. 中学生まちづくりアンケート調査

調査の概要

(1) 調査の趣旨

蟹江町では、令和3年度からスタートした第5次蟹江町総合計画に基づいてまちづくりを進めてきた。

本年度、計画期間の4年目を迎え、前期の実績の評価並びに今後の方向性を見直しに向け、町民の意見を把握し、後期基本計画づくりに反映することが求められる。

蟹江中学校、蟹江北中学校の生徒を対象として、「第5次蟹江町総合計画」の後期基本計画策定の参考にするために、蟹江町の住みやすさや町への愛着、学校や自宅などでの過ごし方、まちづくりへの関心やまちづくりの方向についての意見を把握することを目的として実施した。

(2) 調査対象

蟹江中学校、蟹江北中学校の全校生徒を対象としました（特別支援学級を含む）。

(3) 調査方法

学校を通じて、全ての生徒（アンケート実施日欠席者を除く）に配布・回収しました。

(4) 調査時期

2024年9月

(5) 配布数・回収数

配布した対象者は833人で833人から回答を得ており、全て有効回答でした。有効回収率は100.0%です。

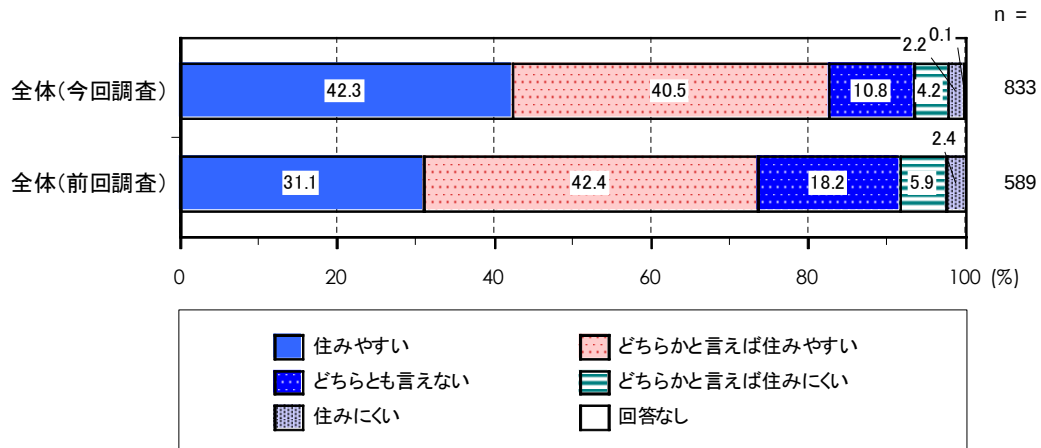
配布数	833 通
回収数	833 通
有効回答数	100.0%

1. 回答者の属性

(4) 住みやすさ

- ・住みやすさについて、「住みやすい」が 42.3%、「どちらかと言えば住みやすい」が 40.5%で、合わせておよそ8割が住みやすさを感じていることがうかがえる。
- ・前回調査と比較すると、「住みやすい」が 10 ポイント程度増加している。

図 1-4 住みやすさ(前回比較)

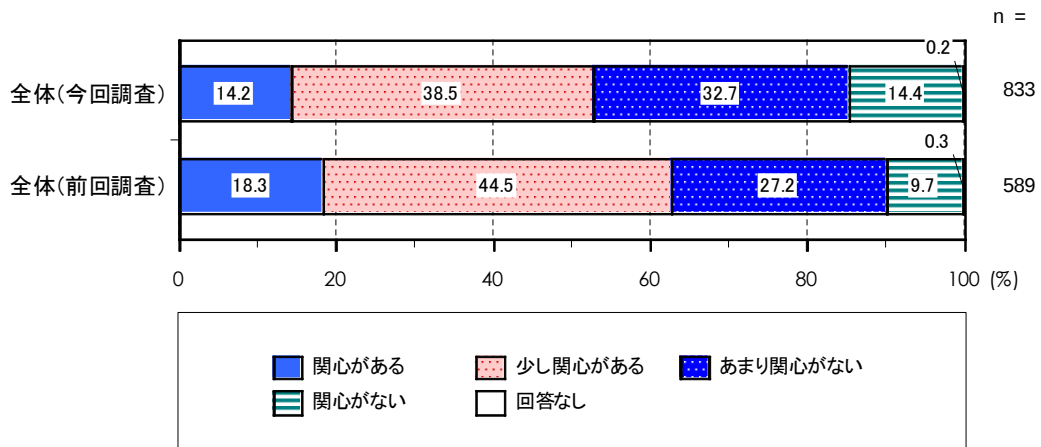


3. 蟹江町のまちづくりについて

(1) まちづくりへの関心

- ・まちづくりへの関心についてたずねたところ、「関心がある」が 14.2%、「少し関心がある」が 38.5%で、合わせておよそ5割がまちづくりへの関心があることがうかがえる。
- ・前回調査と比較すると、「少し関心がある」がやや減少（44.5%⇒38.5%）し、「あまり関心がない」がやや増加（27.2%⇒32.7%）している。

図 3-1 まちづくりへの関心(前回比較)



(8) 魅力あり住みやすい町であるために大切なこと(複数回答)

①回答者全体

- ・魅力あり住みやすい町であるために大切なことについて、「鉄道の便が良いこと」(57.4%)が最も多く、次いで「治安が良いこと」(40.8%)、「大きなショッピングセンターに行きやすいこと」(32.4%)、「道路の便が良いこと」(30.5%)、「災害による被害が少ないこと」(29.5%)の順となっており、利便性や安全性に関する項目が多い。
- ・前回調査と比較して10ポイント以上増加した項目は、「鉄道の便が良いこと」(47.7%⇒57.4%)であり、一方で10ポイント以上減少した項目は、「大きなショッピングセンターに行きやすいこと」(43.5%⇒32.4%)、「地域がきれいである、清潔であること」(30.7%⇒20.6%)、「友人・知人を連れて行きたい店や名所があること」(23.8%⇒13.8%)となっている。

図 3-26 魅力あり住みやすい町であるために大切なこと(前回比較)

